

年 組 名前 :

問1

甲州市の菅田天神社には、なぜ、
聖徳太子の石碑があるのですか。

.....
.....
.....

問2

職人の休日は、何月何日ですか。

..... 月 日

問3

職人の休日に行われる祭りの、
今と昔の名称を答えてください。

今:

昔:



「建築の神様」親しまれ100年

甲州市塩山上於曾の菅田天神社（今沢俊次宮司）にある、聖徳太子をたたえる石碑が建立100年を迎え

甲州・菅田天神社の聖徳太子石碑

た。聖徳太子が法隆寺などの建築に尽力したという故事に基づいて、市内の石工や大工が職人技術の向上などを目的に建立。現在でも地域で親しまれている。石材職人らでつくる聖徳太子奉参会（五味博会長）によると、聖徳太子は石工や大工が使う道具「曲尺」を中国から持ち帰ったとき、職人の間で「建築の神様」として崇拜されている。石碑は聖徳太子への信仰や職人の技術向上、商売繁盛を願い、1922年7月に地元（当時）が中心となって同神社境内に建立。石碑前では職人の休日にあたる毎年7月16日に聖徳太子祭が続いていて、かつては「お太子さん」として盛大に行われていたという。今年16日に「鎮座百年祭」として執り行われ、五味会長ら3人が出席。後藤千絵権禰官が石碑の前で祝詞を奏上した。五味会長は「先代から続いている行事で、これまで地域の石工や大工が守ってきた伝統。これからの100年も受け継いでいきたい」と話した。〈松本飛勇馬〉

(2022年7月26日付 山梨日日新聞 18面)

問3

聖徳太子は、どのような人物であったか、調べてください。

.....
.....
.....
.....